



かがやき

指宿市立指宿小学校
指宿市西方4692-1
TEL 25-2003

自分自身を見つめ、さらに成長する子供に！

校長 狩集 雅人

梅雨入りはしましたが、まとまった雨が降る日も少なく、水泳学習も順調に実施されています。気が付けば1学期もまとめの時期に入ろうとしています。子供たちも夏を感じさせる気候の中、学習や学校行事、読書にたいへん意欲的に取り組んでくれています。

さて、子供たちが学習をしている時に、少し気になる言葉が聞かれるときがあります。それは、学習の成果が思わしくない時、「そのことは、聞いていなかった」、「どうせ、できないから」、「今日は、ちょっと調子が出ないんだ」などの言葉です。原因をしっかりと分析することは、問題の解決にたいへん重要ですが、このようなちょっと言い訳気味の言葉が気になります。

シドニーオリンピックで銀メダルに終わった篠原信一選手の試合終了後のことについて、東海大学体育学部教授でロサンゼルスオリンピック金メダリストの山下泰裕氏が、次のように語っています。

「篠原は試合が終わってから『負けたのは、自分に力がなかったからだ。試合時間は判定後にまだ3分あった。本当に強ければ、この時間で相手を倒せていたはずだ』と言っている。彼が偉いのは、相手を批判する前に、まず自分に足りなかったのは、何だったんだろうと考えているところだ。自分自身を振り返ることが、さらに、自分自信の成長に繋がる。彼は、柔道の練習を通じて、それを学んでいる。かつての日本人は、みんなそのような考えをもっていた。日本人の心はそこにあると思う。」

私たち大人にとっても、自分自身を見つめ、振り返ることは大変難しいことです。しかし、山下選手の話から、相手のせいにはせず、謙虚に自分を振り返ることが、大きな成長に繋がるということが分かります。

子供たちは、これからいろいろな世界でいろいろなことに挑戦することと思います。自分の思い通りにいかないことの方が多いかもしれません。置かれた場で、たくましく生き抜き、経験が生きる糧となるような考えが培える教育を、教師と子供たちが一緒になって取り組んでいきたいと考えます。

PTA親子ふれあいスポーツ大会

清々しい天気の下、市総合体育館を貸し切って開催されました。「ドッジビー」競技を楽しみました。コートは3面を使って、低学年パート（1・2年各2チーム）、中学年パート（3年・4年各学級1チーム）、高学年パート（5年・6年各学級1チーム）ごとに、同学年の予選→パート決勝（異学年対決）のトーナメント方式で行われました。子どものみならず保護者のプレーも盛り上がっていました。みんな清々しい汗もかくことができました。



プール開き

6月第1週に3～6年生が、第2週に1・2年生が「プール開き」でした。年度初めの授業ということで、どの学年もプールの水慣れも兼ねて、みんなで楽しく遊びも交えながらプールに親しんでいました。これから、安全に留意して水泳学習を進めてまいります。




5・6年「SOSの出し方」についての学習



県スクールカウンセラーの松田先生に講師を依頼して行いました。不安や悩みが大きくて長く続くときどうするか、また、友達がつらそうにしている時にどうするか、スライドでの講義を受けた後でDVDを視聴し、心が苦しい時・体の調子がおかしいという時は、「一人で悩まないでほしいこと」「助けを求めることは恥ずかしいことではなく、自分を大切にしている行動であること」「信頼できる大人は必ずいること」「身近にいる信頼できる人に話してほしいこと」を学びました。この前週には、学校職員に向けて松田先生から「SOSの受け止め方(ゲートキーパー)」の講話をしていただきました。

学校・家庭(保護者)で連携して、「ゲートキーパー」としての役割を果たしていけたらと思います。

7月の主な行事予定

- 4日(金) 授業参観・学級PTA
- 7日(月) 図書室返本・整理期間
～11日
- 10日(木) PTAバザー実行委員会
(予)
特別支援学級小中交流会
- 11日(金) 市図画作品審査会
- 12日(土) 土曜授業
- 14日(月) 夏休み用図書貸出期間
～17日
- 18日(金) 終業式・大掃除
- 夏季休業 -----
- 21日(月) 海の日 
- 23日(水) 教育相談(保護者)
～31日

「ショート避難訓練」の実施

通常校時の「昼休み」の後、続く清掃時間帯に実施しました。子どもたちには昼休みを延長した時間帯になることを知らせ、昼休みを引き続き過ごすという状態にしました。その中で【緊急訓練放送(教頭)→緊急地震速報(デモ音声)]を流し、放送指示①「まず、その場で身(頭)を守る行動をとること」、放送指示②「揺れが落ち着き、『安全な場所(校庭)への避難行動』を開始すること」を、それぞれ居合わせた場所で行わせる訓練でした。放送後、3分半ほどで全員が校庭に集合できました。いつ地震などの災害が発生するか分からないこと、また、「自助」「共助」の大切さを実感することができた訓練になったかと思えます。

